



2019年3月27日
Times Higher Education
株式会社ベネッセホールディングス

「THE 世界大学ランキング日本版 2019」発表

「世界大学ランキング」で最も歴史と権威のある英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(以下「THE」)は、ベネッセグループの協力のもと、大学の教学改革やグローバル化の推進に向けて、「THE 世界大学ランキング日本版 2019」を発表いたします。

ベネッセグループは2016年にTHEと業務提携契約を締結し、THEの国内総合パートナーとして協力してまいりました。「THE 世界大学ランキング日本版」は2017年3月に1回目の発表を行い、今年で3回目となります。毎年9月にTHEが発表する世界版ランキングでは「研究力」を軸に据える一方で、日本版ランキングは、日本の教育事情により即した形で大学の魅力や特性が表れるように、大学の「教育力」を測る設計となっています。

昨年に続き、ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成されています。既存の大学ランキングは、主に入学時の学力が軸になっていますが、本ランキングは学生の学びの質や成長性に焦点を当てたものです。大学ランキングについては、今回も総合150位、分野別で150位までを作成しています。

その結果、2019年の総合ランキングでは、昨年に続き京都大学が1位に、東京大学が2位(昨年同率1位)、続いて3位に東北大学(昨年3位)、4位に九州大学(昨年5位)、同率5位で北海道大学(昨年6位)と名古屋大学(昨年7位)がランクインしました。

また、分野別ランキングでは、「教育リソース」で東京大学が昨年に続き1位、「教育充実度」で国際教養大学が同じく昨年に続き1位、「教育成果」で京都大学が昨年の2位からランクを上げ1位に、「国際性」で国際教養大学が昨年に続き1位にランクインしました。(ランキング詳細については、次ページ以降をご覧ください。)

現在、日本国内では高等教育に関する3つの改革、「高大接続改革」「大学教育改革」「大学経営改革」が進められています。このような中、大学では経営・教育へのPDCAサイクルの導入とデータ収集・分析を行うIRの活用などが、ますます必要になります。また、国内の18歳人口が減少する中で、世界中の大学進学希望者に日本の大学の魅力を多様な側面から伝えていくことは非常に重要です。

このような中、THEおよびベネッセグループは、大学ランキングを順位そのものにとどめることなく、大学独自の魅力や特性を客観的に把握するツールとして、大学改革でのプロセスで活用していただきたいと思います。今後、この日本版ランキングを、多くの関係者の皆さまと改善を重ねながら育てていく所存です。日本の大学の教育改革のひとつの指標となるとともに、国内外の大学進学希望者の大学選びの一助になれば幸いです。

Times Higher Education (THE)について

THEは50年にわたり高等教育界に特化し、データ・情報を提供し続けている世界的なオーソリティです：
www.timeshighereducation.com @timeshighered

THE 世界大学ランキング日本版 2019【ランキング指標】

昨年度から今年度の大きな変更点として、ランキング指標における「教育充実度」の充実を図る目的で、学生調査の結果が指標項目に加わりました。教員・学生の交流、協働学習の機会、授業・指導の充実度、大学の推奨度の観点が3つの項目として追加されています。その結果、高校教員の評判調査の項目と割合・バランスが整えられ、教育充実度分野の割合が4%増加しました。これに伴い、教育成果分野の2項目（企業人事の評判調査、研究者の評判調査）の割合がそれぞれ2%減少、教育成果分野全体で4%減少しています。

※括弧内は昨年度の%です。

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	% (昨年度)	
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	8(8)	34 (34)
	学生一人あたりの教員比率	8(8)	
	教員一人あたりの論文数	7(7)	
	大学合格者の学力	6(6)	
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	5(5)	
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会 (New)	6(-)	30 (26)
	学生調査：授業・指導の充実度 (New)	6(-)	
	学生調査：大学の推奨度 (New)	6(-)	
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	6(13)	
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	6(13)	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	8(10)	16 (20)
	研究者の評判調査	8(10)	
国際性 Environment	外国人学生比率	5(5)	20 (20)
	外国人教員比率	5(5)	
	日本人学生の留学比率	5(5)	
	外国語で行われている講座の比率	5(5)	

【指標の補足説明】

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	THE によりスコア化される際に用いられている情報
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	経常収入、在籍学生数、10大費目別消費者物価地域差指数
	学生一人あたりの教員比率	教員数、在籍学生数
	教員一人あたりの論文数	論文数、教員数
	大学合格者の学力	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	競争的資金（内閣府 HP に掲載）の大学別獲得数、教員数
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	設問「教員・学生の交流、協働学習の機会の程度」の回答平均値
	学生調査：授業・指導の充実度	設問「授業・指導の充実度」の回答平均値
	学生調査：大学の推奨度	設問「大学の推奨度」の回答平均値
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	設問「グローバル人材育成に力を入れている」の得票数
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	設問「生徒の力を伸ばしている」の得票数
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」の得票数
	研究者の評判調査	THE による高等教育機関研究者の評判調査の得票数
国際性 Environment	外国人学生比率	在籍外国人学生数、在籍学生数
	外国人教員比率	在籍外国人教員数、教員数
	日本人学生の留学比率	日本人学生の留学生数、在籍学生数
	外国語で行われている講座の比率	外国語で行われている講座数、全講座数

THE 世界大学ランキング日本版 2019【総合順位】(150位までの大学のうち50位まで抜粋)

順位		大学名	スコア				
2019 総合	昨年 総合		総合 Overall	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment
1	=1	京都大学	82.0	84.4	78.8	98.4	69.8
2	=1	東京大学	81.9	87.0	79.9	97.3	63.8
3	3	東北大学	80.2	82.5	80.9	95.6	63.2
4	5	九州大学	79.5	76.9	77.2	96.9	73.4
=5	6	北海道大学	79.3	74.3	81.7	93.7	72.8
=5	7	名古屋大学	79.3	77.6	80.3	95.7	67.8
7	4	東京工業大学	79.0	77.5	76.7	93.5	73.4
8	8	大阪大学	77.9	78.8	77.1	96.6	62.4
9	9	筑波大学	77.5	74.3	84.5	90.4	61.8
10	12	国際教養大学	76.7	51.4	92.4	72.0	100.0
11	16	国際基督教大学	72.7	54.3	90.4	50.1	95.4
12	13	広島大学	71.8	66.7	78.2	74.0	69.3
13	11	早稲田大学	71.5	53.1	79.9	93.6	72.4
14	10	慶應義塾大学	70.4	60.5	76.3	95.9	58.0
15	14	一橋大学	68.5	52.4	77.8	81.4	71.8
16	18	神戸大学	68.0	66.7	73.2	80.0	52.7
17	15	上智大学	67.9	45.9	83.5	66.8	83.0
18	20	金沢大学	66.6	65.8	76.1	60.6	58.8
19	19	千葉大学	66.4	64.6	75.2	72.9	51.2
20	17	東京外国語大学	65.9	44.9	80.1	66.3	80.2
21	=21	長岡技術科学大学	65.6	58.7	69.7	64.2	72.2
22	29	東京農工大学	65.5	70.1	64.9	71.8	53.3
23	=39	東京医科歯科大学	65.4	84.9	61.5	27.6	68.5
24	=25	岡山大学	64.4	62.0	71.3	62.8	59.3
25	32	お茶の水女子大学	64.2	64.7	76.0	50.9	56.1
26	34	会津大学	64.1	61.6	76.4	31.8	75.8
27	=21	立命館アジア太平洋大学	63.7	34.5	82.8	52.3	94.0
28	=25	横浜国立大学	63.4	55.3	71.6	73.6	56.7
29	38	豊橋技術科学大学	63.1	67.5	62.0	53.3	65.0
30	46	横浜国立大学	62.9	70.1	66.9	57.6	48.8
31	42	京都工芸繊維大学	62.4	61.2	63.5	64.6	61.1
32	41	東京海洋大学	62.0	62.9	67.1	58.2	56.2
33	23	立命館大学	61.7	42.5	77.9	65.8	66.9
34	33	神田外語大学	61.3	36.6	82.8	54.4	76.6
35	28	同志社大学	60.4	42.4	77.5	66.0	60.8
36	30	東京理科大学	60.3	55.5	77.4	71.6	-
37	31	関西学院大学	60.0	41.3	78.3	60.2	64.3
38	=43	大阪市立大学	59.9	66.1	64.0	66.8	37.8
39	=36	首都大学東京	59.7	59.2	69.0	61.4	45.3
40	=43	長崎大学	59.6	61.7	69.2	53.5	46.4
=41	27	立教大学	59.4	39.3	79.6	59.0	63.4
=41	=68	豊田工業大学	59.4	72.6	57.8	47.3	49.0
43	=55	電気通信大学	58.7	64.4	59.7	62.6	44.5
44	48	芝浦工業大学	58.6	49.0	71.2	57.8	56.7
45	=51	新潟大学	58.4	59.2	70.1	56.5	40.8
=46	62	福岡女子大学	58.0	51.9	74.2	-	80.3
=46	54	信州大学	58.0	60.8	66.9	62.0	36.6
=48	58	秋田大学	57.3	58.3	61.7	59.8	46.7
=48	61	学習院大学	57.3	43.9	70.4	56.6	61.0
=48	65	大阪府立大学	57.3	62.7	58.4	66.1	39.4

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合はアルファベット順で掲載しています。

※表中の「- (ハイフン)」は、分野別スコアにおいて151位以下であることを表しています。「データなし」の意味ではありません。

※詳細は「THE 世界大学ランキング 日本版」日本語公式サイトをご覧ください。 <https://japanuniversityrankings.jp/>

THE 世界大学ランキング日本版 2019【分野別順位】（150 位までの大学のうち 20 位まで抜粋）

教育リソース Resources			教育充実度 Engagement			教育成果 Outcomes			国際性 Environment		
順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名
1	1	東京大学	1	1	国際教養大学	1	2	京都大学	1	1	国際教養大学
2	4	東京医科歯科大学	2	=10	国際基督教大学	2	1	東京大学	2	3	国際基督教大学
3	2	京都大学	3	7	筑波大学	3	3	九州大学	3	2	立命館アジア太平洋大学
4	3	東北大学	4	=12	上智大学	4	7	大阪大学	4	28	大阪女学院大学
5	5	浜松医科大学	=5	21	立命館アジア太平洋大学	5	4	慶應義塾大学	5	9	東京国際大学
6	9	札幌医科大学	=5	30	神田外国語大学	6	=5	名古屋大学	=6	10	神戸市外国語大学
7	10	大阪大学	7	15	北海道大学	7	=5	東北大学	=6	12	麗澤大学
=8	=23	名古屋大学	8	=3	東北大学	8	8	北海道大学	8	5	上智大学
=8	15	奈良県立医科大学	9	=12	名古屋大学	9	10	早稲田大学	9	8	名古屋外国語大学
10	11	東京工業大学	10	=24	東京外国語大学	10	9	東京工業大学	10	NR	長崎外国語大学
11	19	九州大学	=11	2	東京大学	11	12	筑波大学	11	11	宮崎国際大学
12	14	日本医科大学	=11	5	早稲田大学	12	11	一橋大学	12	6	京都外国語大学
13	21	愛知医科大学	13	19	立教大学	13	20	神戸大学	13	14	福岡女子大学
=14	17	北海道大学	14	31	東洋大学	14	13	広島大学	14	4	東京外国語大学
=14	18	筑波大学	15	=3	京都大学	15	15	横浜国立大学	15	27	梅光学院大学
16	12	豊田工業大学	16	23	関西学院大学	16	16	千葉大学	16	=20	創価大学
17	25	東京慈恵会医科大学	17	16	広島大学	17	17	国際教養大学	17	7	名古屋商科大学
18	22	関西医科大学	18	20	立命館大学	18	18	東京農工大学	18	35	関西外国語大学
=19	28	東京農工大学	19	17	一橋大学	19	14	東京理科大学	19	15	神田外国語大学
=19	31	横浜国立大学	=20	18	同志社大学	=20	19	上智大学	20	24	会津大学
			=20	=41	津田塾大学	=20	=26	大阪市立大学			

※「昨年」は昨年の順位です。

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は総合ランキングの高い順で掲載しています。

※「NR」は昨年「ランクインしていない」「エントリーしなかった」のいずれかです。

THE Chief Knowledge Officer : Phil Baty によるコメント



日本の世界クラスの大学は、研究の強みにおいて良く知られていますが、この日本版ランキングのデータは学生の成長と学習に焦点を合わせています。毎年、日本の生徒たちはどの大学の教育を信頼するか、という人生の中で最も重要な決断の一つを行っており、質の高い教育こそ彼らの成功にとって極めて重要なのです。

今年、京都大学が栄えある総合トップの地位を築いたことを喜ばしく思っています。特に、「教育成果」分野での結果は非常に印象的で、東京大学を僅差で押さえて最高のスコアを獲得しました。

その一方で、今回、学生調査の結果が反映された「教育充実度」分野と、大学の環境面である「国際性」分野で最も高い成果を示したのが、国際教養大学でした。

以上